

授業科目名	保健科教育法2 (Teaching Method for Health Education 2)		
科目番号	84520(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2・3年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	保健科学部
担当教員(研究室)	野津 有司 (非常勤講師)		
実務経験のある教員による授業科目			
免許法施行規則に定める科目区分等	教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)		
	各教科の指導法		
授業の到達目標	保健の学習内容について理解を深めるとともに、学習指導案の作成や授業分析を通して保健授業の指導力を高める。		
授業概要	高等学校の学習指導要領に位置づけられた保健内容について解説する。また、学習指導案の作成や教材づくりを行い、検討する。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に、高等学校科目保健の教科書の特徴を調べる (2H) 事後学修 授業後に、学習指導案を見直し、省察を深める (2H)		
授業計画	第1回: 高等学校学習指導要領(科目保健)「現代社会と健康」 第2回: 高等学校学習指導要領(科目保健)「安全な社会生活」 第3回: 高等学校学習指導要領(科目保健)「生涯を通じる健康」 第4回: 高等学校学習指導要領(科目保健)「健康を支える環境づくり」 第5回: 保健授業(事例1)の分析 第6回: 保健授業(事例1)の改善点の検討 第7回: 学習指導案の作成(1)導入、展開、まとめ 第8回: 学習指導案の作成(2)発問づくり 第9回: 学習指導案の作成(3)評価の観点 第10回: 教材の作成 第11回: ワークシートの作成 第12回: 模擬授業の実践・省察 第13回: 保健授業(事例2)の分析 第14回: 保健授業(事例2)の改善点の検討 第15回: まとめ 期末試験		
テキスト	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編・体育編		
参考書・参考資料等	文部科学省編 『改訂「生きる力」を育む中学校保健教育の手引』 文部科学省編 『改訂「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引』 教員養成系大学保健協議会編 『学校保健ハンドブック 第7次改訂』ぎょうせい		

成績評価方法	レポート(50%)、筆記試験(50%)により総合的に評価する。
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない